

# 資料編

---

## 目次

I.	計画の策定経過.....	3
1.	(仮称)八尾子ども計画の策定経過.....	4
2.	子育て支援に関するワークショップ等の実施.....	7
3.	中学生・高校生グループインタビューの実施.....	23
4.	子育て世帯へのアンケート調査の実施.....	26
II.	八尾の子育てを取り巻く現状.....	27
1.	人口・世帯の状況.....	28
2.	人口動態.....	33
3.	就業の状況.....	35
4.	育児休業の取得状況や仕事や子育ての両立の状況.....	37
5.	住まいの状況.....	38
6.	保育所、幼稚園の利用の状況.....	39
7.	子育て支援サービスの状況.....	41
8.	母子保健及び医療の状況.....	45
9.	小学生、中学生の状況.....	49
10.	子育て家庭への経済的支援.....	53
11.	ひとり親家庭の状況.....	55
12.	相談等の状況.....	57
13.	虐待の状況.....	59
14.	障がいのある子どもへの支援状況.....	60
15.	地域の活動と子育てサークルの状況.....	62
16.	子どもの遊び場・居場所.....	63
17.	地域とのかかわり.....	66
	子育て支援等の関連施設の配置状況.....	68
	具体的施策を実現するための取り組み内容一覧.....	69
	八尾市子ども・子育て会議条例.....	89
	子ども・子育て会議委員名簿.....	91
	八尾市子ども・子育て支援推進本部設置要綱.....	92
	用語集.....	95

# I . 計画の策定経過

## 1. (仮称)八尾子ども計画の策定経過

### 1. 八尾市子ども・子育て会議

	回数	日程	内容
平成25年度	第1回	平成25年 11月26日	八尾市子ども・子育て会議について 子ども・子育て支援事業計画に係るニーズ調査について 保育サービス実施状況について
平成26年度	第1回	平成26年 4月25日	八尾市次世代育成支援行動計画平成24年度実績について 平成26年度の予定について 教育・保育給付及び地域子ども・子育て支援事業の見込み量について
	第2回	平成26年 5月30日	(仮称)八尾子ども計画の理念・方向性・骨子等の検討について 子ども・子育てワークショップについて 子ども・子育て支援新制度における給付・事業の基準について
	第3回	平成26年 6月27日	(仮称)八尾子ども計画の理念等について 見込み量の確保方策の検討について 子ども・子育て支援新制度における各種基準について
	第4回	平成26年 8月7日	子ども・子育て支援新制度における各種基準について 保育の必要性の認定について
	第5回	平成26年 9月25日	子ども・子育て支援事業計画で定める確保方策等の検討について(報告) 子ども・子育てワークショップの実施報告と課題・現状分析 八尾市次世代育成支援行動計画平成25年度実績と今後の事業の方向性 (仮称)八尾子ども計画の重点課題
	第6回	平成26年 10月16日	(仮称)八尾子ども計画の重点課題・基本方向等の検討について
	第7回	平成26年 10月30日	(仮称)八尾子ども計画素案の検討について
	第8回	平成26年 11月13日	(仮称)八尾子ども計画素案の検討について (仮称)八尾子ども計画素案のパブリックコメント実施について
	第9回	平成27年 2月3日	(仮称)八尾子ども計画素案のパブリックコメント実施状況等について
	第10回	平成27年 3月17日	八尾市こどもいきいき未来計画(案)について 特定教育・保育施設の利用定員について

## 2. 八尾市子ども・子育て会議 子ども・子育て支援事業計画策定部会

	回数	日程	内容
平成25年度	第1回	平成26年 2月13日	アンケート調査結果（中間報告）について 子ども・子育て支援新制度における圏域について
	第2回	平成26年 3月7日	アンケート調査結果について 教育・保育給付の見込み量について
	第3回	平成26年 3月20日	教育・保育給付の見込み量について
平成26年度	第1回	平成26年 4月17日	地域子ども・子育て支援事業の見込み量について
	第2回	平成26年 7月24日	教育・保育給付等の圏域別見込み量の検討について 教育・保育給付等の確保方策の検討について 子ども・子育て支援新制度における各種基準等について
	第3回	平成26年 8月28日	教育・保育給付等の確保方策等の検討について
	第4回	平成26年 9月16日	教育・保育給付及び地域子ども・子育て支援事業の確保方策等の検討について

## 3. ニーズ調査及びワークショップ等の実施

時期	内容
平成24年9月	八尾市保育サービスに関するアンケート調査
平成25年12月	八尾市保育サービスや子育て支援に関するアンケート調査
平成26年7～8月	子ども・子育てワークショップ
平成26年8月	中学生・高校生へのグループインタビュー
平成26年9～10月	校区まちづくり協議会、八尾市PTA協議会での意見交換会

## 4. 八尾市子ども・子育て支援推進本部会議

回数	日程	内容
第1回	平成26年 7月4日	（仮称）八尾こども計画及び子ども・子育て支援事業計画の策定について （仮称）八尾こども計画の理念について （仮称）八尾こども計画の策定に係る取り組み実績と方向性の照会について
第2回	平成26年 11月7日	（仮称）八尾こども計画（素案）について パブリックコメントの実施について

#### 5. 八尾市子ども・子育て支援推進本部幹事会

回数	日程	内容
第1回	平成 26 年 10 月 22 日	子ども・子育て会議における（仮称）八尾こども計画の検討状況について （仮称）八尾こども計画に位置づけする事業内容の確認について
第2回	平成 26 年 11 月 7 日	（仮称）八尾こども計画（素案）について パブリックコメントの実施について

#### 6. 市民意見提出制度（パブリックコメント）実施

時期	内容
平成 26 年 12 月 ～平成 27 年1月	八尾市市民参画と協働のまちづくり基本条例第 1 2 条の規定に基づく市民意見提出制度（パブリックコメント）の実施 （合わせて計画名称を募集）

#### 7. 計画書表紙デザイン募集

時期	内容
平成 26 年 12 月 ～平成 27 年1月	子ども（おおむね 18 歳まで）からの計画書表紙デザインの募集

## 2. 子育て支援に関するワークショップ等の実施

### (1) 子ども・子育てワークショップの開催

計画の策定にあたり、地域の課題や今後求められる子どもや子育てを支援する施策を検討するため、地域住民の方々を対象とした「地域別ワークショップ」と、保育士や幼稚園教諭、その他さまざまな子育て支援活動をされている方々を対象とした「子育て支援者等のワークショップ」を開催しました。ワークショップでは5つのテーマを設定し、グループごとにテーマについての現状把握や課題等への対応について意見交換を行った後に、最終発表を実施しました。

#### <テーマ設定>

- ① 子育てに関する情報提供
- ② 子どもの居場所
- ③ 子どもの成長に応じた切れ目のない支援を行うには？
- ④ 自分も他者も大切にする子ども、自ら考え行動する子どもを育てるためには？
- ⑤ 子どもとともに親も育つ「子育て力」の強化

#### <開催状況>

開催日	開催内容	参加人数	議論したテーマ				
			1班	2班	3班	4班	5班
7月27日(日)	子育て支援者等のワークショップ (八尾市青少年センター)	27人	④	⑤	②	①	③
8月17日(日)	地域別ワークショップ【中部】 (八尾市総合体育館)	30人	⑤	③	②	①	
8月23日(土)	地域別ワークショップ【南部】 (志紀コミセン)	26人	①	⑤	③	②	
8月23日(土)	地域別ワークショップ【東部】 (高安コミセン)	19人	③	①	②		
8月31日(日)	地域別ワークショップ【西部】 (八尾市役所)	27人	⑤	③	①	②	

※各班の意見内容は次頁以降に記載

#### <ワークショップ当日の流れ>

##### ①グループワーク～現状と課題の整理

テーマに沿った現状と課題について各自の意見をふせん紙に書き出し、グループで意見交換をしながら模造紙にふせん紙を貼り付けていきます。

##### ②グループワーク～解決策の検討・まとめ

課題に対しての解決策について、自分でできること、地域としてできること、などに分類し、発表に向けて模造紙を完成させていきます。

##### ③グループによる最終発表

グループで話し合った結果について、参加者全員の前で発表し、それぞれの課題共有や解決策の各方面からのアプローチ方法を抽出していきます。



## 子ども・子育てワークショップ 課題と現状分析

### 課題・意見総括

- 子育てに関する情報が取得しづらい、情報を得るための窓口がどこにあるか分からない
- 出産前のフォロー体制の強化など、安心して出産できる環境を整備してほしい
- 出産直後のストレス・不安など、子どもの年齢に応じて相談ができる場が少ない
- 出産後の子育てに関する知識不足があり、親が学べる機会も少ない
- 学齢が上がるほど、相談場所が減少するなど支援の機会が減っている
- 少子化やこども会の加入率減少により、地域での子ども・親同士のつながりが薄い
- 地域において小さい子どもがいる親と敬老世代の交流が少ない
- 子どもが安全・安心して遊べる場所が少ない

### <現状分析>

#### ■子育てに関する情報提供、子育て力の強化について

子育てに関する情報提供、子育て力の強化などのテーマでは、膨大な情報の中から必要な情報を探すのが難しいという意見や、出産前後から就学後までの年齢に応じて相談できる窓口が必要だが、どこに行けばいいのかわからないという意見が多かったことから、情報や相談窓口はあるものの、その活用方法に対する課題が大きいことが確認できた。特に子育て力の強化については、情報不足や周囲とのつながりに対する「親の不安」が課題として挙げられており、今後も情報の提供方法について検討を重ね、必要な情報を必要なときに伝えていくシステムの構築が必要である。

#### ■子どもの成長に応じた切れ目のない支援について～地域特有の取り組み

少子化や町会・こども会の加入率低下などの社会背景もあり、地域での子どもや親同士のつながりが希薄化しているとの意見が多く、子育て力の強化や情報提供の充実の一つの方策として、地域とのつながりの強化が東部を除く地域で挙げられた。一方、東部地域では就学前のつどいの広場や育児サークルでの交流をスタートとして、そこからこども会への交流につなげるとともに、子どもから大人になる場として、引き続き青年団に入団するという連続した流れをもっている地域もあり、子どもの成長に応じた地域との関わりや地域で子どもを見守る体制の検討において良い参考事例となった。

#### ■子どもの居場所

公園でのボール遊び禁止や学校の校庭の使用に制約があるなど、安全に遊べる場所が不足しているという意見や、中学生・高校生が集える場所の不足などの意見が多く挙げられた。今後はコミュニティセンターやその他各地域の既存施設の活用などによる居場所づくりを促進していく必要がある。



## ■自分も他者も大切に作る子ども、自ら考え行動する子どもを育てるには

子どもと親との関係性の問題や子どもではなく親が主体となって行動するなどの問題から、自信のない、やる気のない子どもが増えているとの意見があった。親だけでなく地域でのさまざまな声掛けや見守りを増やして子どもの感情を刺激してみたり、河内音頭祭りで「子ども音頭取り」の活躍の場を与えるなど、子どもが主役となって自信をつけていけるような環境づくりが解決策として挙げられた。

## ■課題の解決策～地域との交流の促進について

今回さまざまな課題が抽出された一方で、その解決策として「地域とのつながり」という視点からアプローチをかけていく意見が非常に多かったことが特徴として挙げられる。子どもや親が地域との交流を深めていくことで、子どもの主体性の向上に加え、親自身の成長も図るような施策の推進が必要である。また、東部地域の事例にもあったように、子どもの成長に応じた切れ目のない支援を行っていくために、地域の人々についても子育て家庭との関わりの中で子育てを地域全体で支えていく当事者としての意識の醸成を高めていくことが重要だと考えられる。